

## 令和元年度「大学コンソーシアム富山 FD&SD 研修会」実施報告

事業名	FD&SD 研修会
実施機関名	富山県立大学
趣旨・目的	教員の授業内容や教育方法などの改善・向上、職員の業務改善、サービスの向上を目指すものである。 そこで、今回は「これまでの初年次教育の成果と課題」をテーマに研修会を開催した。
開催日時	令和元年 9 月 17 日（火） 13：30～16：10
開催場所	富山県立大学 大講義室 〒939-0398 富山県射水市黒河 5180 番地
参加人数	139 名（教員 86 名・職員 53 名） （内訳） 富山大学 29 名（教員 8 名、職員 21 名） 富山県立大学 23 名（教員 20 名、職員 3 名） 高岡法科大学 25 名（教員 14 名、職員 11 名） 富山国際大学 21 名（教員 16 名、職員 5 名） 富山短期大学 11 名（教員 7 名、職員 4 名） 富山福祉短期大学 14 名（教員 9 名、職員 5 名） 富山高等専門学校 16 名（教員 12 名、職員 4 名）
事業内容	13：30 開会 司会進行：鳥山 朋二氏 （富山県立大学 電子・情報工学科 教授） 13：35 開会挨拶 下山 勲氏（富山県立大学 学長） 13：40 第 1 部 講演 講師：北陸大学 経済経営学部長 山本 啓一氏 14：15 休憩 14：30 第 2 部 事例発表および総評、質疑応答 富山大学 教養教育院 教授 谷井 一郎氏 富山国際大学 現代社会学部 教授 後藤 智氏 富山県立大学 教養教育センター 准教授 川上 陽介氏 16：05 閉会挨拶 高木 利久氏（富山国際大学 学長） 16：10 閉会

北陸大学 山本氏による基調講演



富山国際大学 後藤氏による事例発表



## 【アンケート結果（一部抜粋）】

問1 今回の研修会について、どのような印象をお持ちですか。

- ・教養教育の重要性が理解できた。
- ・初年次教育の実情を知ることができた。山本先生のコメントによって事例発表の内容の理解が深まった。
- ・私は事務職員であるが、FD研修会としては有意義だったように思う。しかし、SD研修会としてはあまり直接業務に生かせる内容ではないため、やや物足りなさを感じた。

問2 今回の研修会は、設置する学部等が異なる7機関全てに有意義なテーマであることを条件にテーマ（これまでの初年次教育の成果と課題）を選定しておりますが、今後どのようなテーマをこの研修会に望みますか。

- ・情報システムを活用した教育・業務の改善・効率化
- ・学生が主体的に学び合う授業の実践例
- ・教員と事務職員との協働のあり方や進め方について
- ・課外活動（サークル活動、学生会、大学祭、ボランティア活動）に対する大学教職員、組織の関わり方について